

■ 環境啓発施設の視察まとめ

施設名	多摩エコにこセンター	エコプラザ西東京	京エコロジーセンター	えこっくる江東	板橋区エコポリスセンター	港区エコプラザ	西宮市環境学習サポートセンター	中央区環境情報センター	
施設写真									
1 施設概要	設置者	多摩ニュータウン環境組合	西東京市	京都市	江東区	板橋区	港区	西宮市	中央区
	開設年	平成14年	平成20年	平成14年	平成19年	平成7年 (リニューアルオープンは平成27年)	平成20年	平成17年	平成25年
	構造など	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,980㎡ リサイクル工房・リサイクル品販売コーナー、展示コーナーなど	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,009㎡ * 事務室・詰所含む 講座室、多目的スペース、など	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、2,700㎡ 企画展示コーナー、体験コーナー、図書コーナー、交流コーナーなど	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,000㎡ 展示室、情報コーナー、ワークショップルーム、研修室など	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、3712.43㎡ * 地域センターとの複合施設 資料室、学習室、実験室など	鉄筋コンクリート造、地上1～3階を利用、1157.98㎡ ホール、多目的室、会議室	鉄筋コンクリート造、1階部分の一部を使用 学習コーナー、図書コーナー、ミニ水族館	東京スクエアガーデン内6階、315㎡ * 事務室除く 展示情報コーナー、交流室、研修室
	開設経過	八王子、多摩、町田にかかる多摩ニュータウン環境組合の清掃工場の建て替えに伴い、地元住民からの要望を踏まえ、併設のリサイクルセンターを開設した。	保谷・田無市の合併を機に特例債を活用した施設整備を検討。清掃職員の詰所の移転も市民参加で開設準備、リサイクルプラザとして市民団体等と議論してきた歴史がある。	京都市開催の「地球温暖化防止京都会議（COP3）」を記念し、環境学習・環境保全活動の拠点として開設。市内の環境NPOや消費者・事業者団体代表、学識経験者等による研究会、企画委員会等が開設に至るまで主体的な役割を果たした。	2か所の清掃事務所の統合（清掃事務所庁舎の新設）に合わせ、従来からの環境に関する学習、活動、情報発信の拠点であった啓発施設の建て替えを行った。江東区はごみ処分の埋立地である夢の島を有し、ごみ処理問題が非常に身近で重要な問題だった。	開設から20年が経過した27年度にリニューアル。大型展示は廃止し、有識者と区職員からなるあり方検討委員会提言を受け、機能充実と協働推進を柱に全面改修した。	平成5年にリサイクル系啓発施設として開設。平成20年に廃校跡地を民間に貸し付けて民間資金で施設を整備。1～3階を区が買い戻して移転を受け、平成13年からの検討を生かし、環境全般の普及啓発をする「エコプラザ」となった。	前身は環境書籍1,500冊を揃える環境図書コーナーや、相談・ボランティア活動の拠点機能を持つ環境学習ルーム。江上庁舎内にあったが、平成17年に移転して開設した。	最先端の環境技術が取り入れられた東京スクエアガーデンの6階「京橋ステーション」内に設置。区条例により一定面積以上の建物建設の際には、行政機能の付加が義務付けられている。
	主な業務	・粗大ごみのリサイクル販売 ・講座、イベントの実施 ・情報の発信 ・食器のリサイクル ・子どもエコクラブの運営（子ども対象の工作教室・イベントなど）	・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し * リサイクル品はシルバー人材センターが展示販売	・講座、イベント等の実施 ・ボランティアの養成、支援 ・外部イベントへの出展 ・環境保全活動への助成 ・情報発信 ・地域社会への提案 ・会議室の貸し出し	・講座、イベント等の実施 ・常設展示室の設置、運営 ・ボランティアの養成 ・情報コーナーの設置、運営 ・部屋の貸し出し	・講座、イベント等の実施 ・出前授業 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し ・事業者連携による企画展示	・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し ・事業者連携による企画展示	・環境学習相談窓口 ・環境学習のサポート ・地域の環境活動のサポート ・情報の発信 ・川の学習拠点（ミニミニ水族館）	・研修室の貸し出し ・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・活動登録団体による企画展示、活動発表会
	休館日	月曜日、年末年始	第3月曜日、年末年始	木曜日、年末年始	月曜日、年末年始	第3月曜日、年末年始	第4月曜日、年末年始	月曜日、年末年始	年末年始のみ
	開館時間	10時～17時	9時～21時30分	9時～21時 * 展示コーナーは17時まで	9時～17時 * 常設展示室は9時30分～	9時～17時 * 施設貸出は21時30分まで	9時30分～20時	9時～17時	9時～21時
2 運営	運営者	運営委託 特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦	公設公営	指定管理 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会	公設公営 一部環境活動団体の連合体への事業委託あり	指定管理 環境立区いたばし（JV） 運営：(株)学研教育出版 施設管理：(株)東急コミュニティー	指定管理 (株)キャリアライズ	運営委託 特定非営利活動法人子ども環境活動支援協会（LEAF）	運営委託 (株)小学館集英社プロダクション
	職員体制	8名（1日3名体制） 正規2名 パート6名	5名（1日3名体制） * すべて非常勤嘱託	16名 エコメイト51名（任期3年） エコサポーター122名 （エコメイト卒業生）	8名 正規3名 再任用1名 非常勤嘱託4名	運営 正規13名 施設管理：2名+α	7名 常勤6名 非常勤1名	36名 正規6名 契約2名 臨時28名	8名 常勤3名 非常勤5名
	ランニングコスト	1,900万円 委託料1,600万円 リサイクル品売上300万円	4,266万円 運営費3600万円 事業費666万円 * 光熱水費は除く	指定管理委託料 1億5,225万7千円	4,100万円 運営費3,100万円 事業費1,000万円 * 維持管理費は別途予算化	指定管理委託料 1億4,250万円 うち事業費1,539万円 同 維持管理費4,030万円	指定管理委託料 6,900万円	施設管理費700万円 事業費1,400万円 * 自然環境センターとの一括委託	運営費3,300万円
	特徴	・リサイクル品の売上収入を運営費に充てている。 ・組合と運営団体との定例会議を月1回実施、課題や改善点を共有、協議している。	・市民中心の協力員が各種事業を支援している。 ・市民嘱託職員5名が講座等の企画、立案、運営を担当、市民目線を生かしている。	・正規職員の専門性の向上を図るため、様々な研修等に参加している。 ・担い手を養成するための連続講座に力を入れている。	・事業の一部を環境活動団体の連合体に委託している。 ・展示室等を案内するエコサポーター（3年登録）を養成している。	・事業運営に関わる職員はすべて正規職員、仕様書上、非常勤は認められていない。 ・講座等の事業数が多く、内容も充実している。	・大使館や大企業と連携した取り組みや、大人、在勤者向けの事業が充実している。 ・企業等との会議体を発足し、連携している。	・平成15年に全国初の「環境学習都市宣言」。運営団体を軸に多様な環境学習が進められ、家庭、地域、学校など、全生活領域に浸透している。	・大企業の本社や組織力のある環境団体が多く、連携が実現しやすい環境にある。 ・運営事業者の企画力が生かされた事業が展開されている。